



# コロンビアのサッカー



1. コロンビアのサッカー事情

2. コロンビア代表の歴史

3. ブラジル大会のコロンビア代表

# 1. コロンビアのサッカー事情

人気ナンバーワンの国民的スポーツ。

ボールと広い土地があれば、知り合いであるなしや年齢に関係なく、みんなでサッカーを楽しむ文化。



# 国内リーグ

1部リーグ 18チーム 2部リーグ 18チーム  
計36チーム

リーグ戦、カップ戦、  
Copa Libertadores（中南米クラブ選手権）

リーグ戦（1部と2部で別）

- ・前期と後期それぞれで優勝を決定。
- ・各期で総当たりし、上位8チームがさらにリーグ戦を行い、優勝を決定（日本のプロ野球のクライマックス制度と類似）。

# カップ戦

- ・1部と2部の全てのチームがトーナメント

Copa Libertadores（中南米クラブ選手権）

- ・リーグ戦の上位チームが出場。
- ・優勝者が FIFA クラブワールドカップ（旧トヨタカップ）に出場。
- ・2004 年 オンセ・カルダスがトヨタカップに出場。  
FC ポルトと対戦し、PK 線の末敗れる。

## コロンビアサッカーの特徴

- ・短いパスの交換
- ・ゴール前の個人技
- ・メキシコ代表、FCバルセロナに似たタイプ

## 幻のワールドカップ「コロンビア大会」

- ・コロンビアは1986年の開催国に決定していた。
- ・治安や経済情勢の悪化により、コロンビアでの開催を断念
- ・代わりにメキシコで開催。

## 偉大なる日系人サッカー選手「道工カオル氏」

- ・ 1924 年に日本人の父、コロンビア人の母を持つ日系 2 世としてウシクリ(バランキージャ近郊)に生まれる。
- ・ 1948 年にプロリーグが誕生すると、サンタ・フェ(ボゴタ)に入団。
- ・ リーグ初年度の優勝に貢献、キャプテンを務めるなど 1957 年まで現役として活躍。
- ・ 代表選手として活躍なし(国内リーグの混乱を理由に FIFA から脱退し、国際試合が不可能)。





現役時代の道工氏



## 2. コロンビア代表の歴史

過去のワールドカップ本線への出場 4回  
ブラジル大会は16年ぶり、5回目の出場

- ・ 1962 年 チリ大会：予選敗退
- ・ 1990 年 イタリア大会：ベスト16  
(唯一の決勝ラウンド進出)
- ・ 1994 年 米国大会：予選敗退
- ・ 1998 年 フランス大会：予選敗退
- ・ 2014 年 ブラジル大会

コロンビア代表の  
黄金期

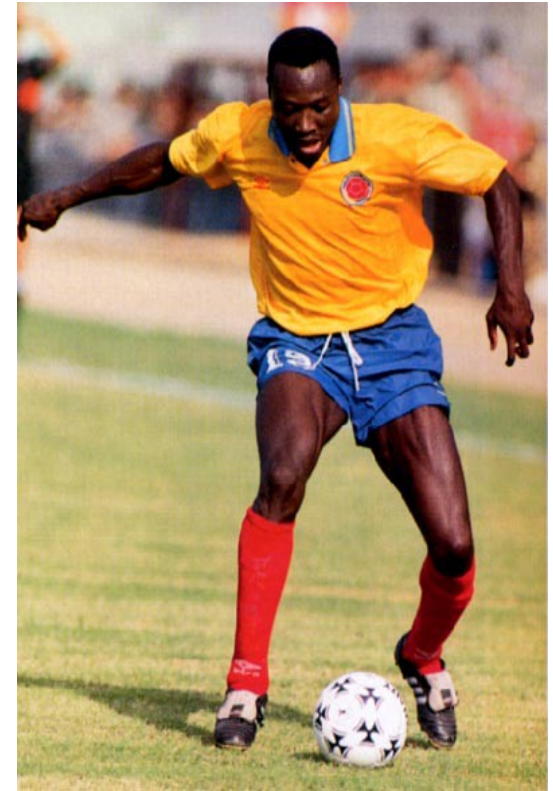
# 1994 年 米国大会 豊富なタレント



カルロス・バルデラマ  
華麗なパスナー



ファウスティーノ・  
アスプリージャ  
南米のクロヒョウ



フレディ・リンコン

- 南米予選ではアウェイでアルゼンチンに5－0で大勝。
- 豊富なタレントをそろえ、南米予選での好調ぶりから、優勝候補の一角に挙げられる。

- 結果

対 ルーマニア	×	1－3
対 米国	×	1－2
対 スイス	○	2－0



予選敗退

- 米国の試合にオウンゴールをしたアンドレス・エスコバルの悲劇

# アンドレス・エスコバル

- コロンビア代表のディフェンスの要、代表キャプテン。
- W杯終了後は、イタリアのACミランへの移籍が決定。
- 予選敗退後、メデジン郊外のバーで射殺される。
- 射殺は、賭博でコロンビアに賭け、大損をした麻薬組織の逆恨みからの仕業か？
- 日本での「自殺点」の呼び名は廃止され、「オウンゴール」に変更。



### 3. ブラジル大会のコロンビア代表

#### ペケルマン監督(2012年1月～)

- ・現役時代、メデジンでプレー  
( 1974 ～ 1977 )
- ・94年よりU-20アルゼンチンを率い  
3度の世界一を獲得。
- ・06年W杯ドイツ大会ではアルゼンチ  
ンを率い、 ベスト8へ導く。



- ・ザッケローニ就任時に、日本代表監督の最有力候補

- ・コロンビアの宿敵であるアルゼンチン人  
1983 年～ 2011 年 コロンビア人による代表監督  
2012 年(ブラジル大会予選の途中)～現在 ペケルマン

→ 日本代表監督に韓国人が選出されるようなもの

→ 治安の改善

→ コロンビアサッカー界の思い切った決断、  
今大会にかける思い



# ペケルマン監督のコロンビア代表

- 専属のメンタルトレーナーを付け、選手に自信を付けさせた
- 伝統的なパスサッカーを生かしつつ、ロングボールで相手の裏をとる速い攻撃
- 堅実な守備（ワールドカップ予選の成績）

チーム	勝点	勝利	引分	敗戦	得点	失点	点差
アルゼンチン	32	9	5	2	35	15	20
コロンビア	30	9	3	4	27	13	14
チリ	28	9	1	6	29	25	4
エクアドル	25	7	4	5	20	16	4
ウルグアイ	25	7	4	5	25	25	0
ベネズエラ	20	5	5	6	14	20	-6
ペルー	15	4	3	9	17	26	-9
ボリビア	12	2	6	8	17	30	-13
パラグアイ	12	3	3	10	17	31	-14

- ・代表入りすれば、選手としての価値が上がる。  
過去には、しがらみや裏取引きによる代表選手の  
噂も？

→ アルゼンチン人であるがゆえに、しがらみのない人選

- ・豊富なタレント～黄金期の再来

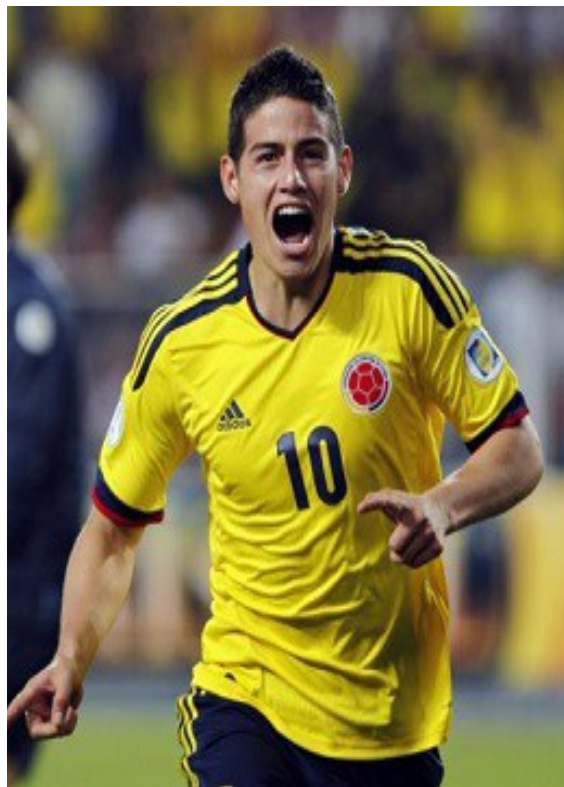
	所属リーグ	人数	
ヨーロッパ	リーガ エスパニョーラ	2	19
	イングランド プレミアリーグ	1	
	イタリア セリエA	7	
	ドイツ ブンデスリーグ	2	
	フランスリーグ	4	
	オランダリーグ	1	
	ポルトガルリーグ	2	
中南米	メキシコリーグ	3	7
	アルゼンチンリーグ	3	
	ブラジルリーグ	1	
アジア	サウジアラビアリーグ	1	1
国内	国内リーグ	3	3
		30	30

# 注目選手



ラダメル・ファルカオ

・世界屈指の  
ストライカー



ハメス・ロドリゲス

・コロンビアの  
司令塔



グアドラード

・スピードと  
高いテクニック



スニガ

・高速ドリブ  
ラー



グアリン

・万能な  
ミッドフィル  
ダー



マリオ・ジェペ  
ス

・守備の要、  
ゲームキャプ

# ブラジル大会のコロンビア代表

- 円熟期を迎えた豊富なタレント
  - 名将ペケルマン監督が率いる堅実なチームづくり
  - FIFAランク5位（南アフリカW杯終了時点：48位）
  - 南米での開催
  - エース ファルカオが1月に大けがをし、欠場か？
- ファルカオ以外にも強力なFW陣

# ブラジル大会のコロンビア代表

- 円熟期を迎えた豊富なタレント
  - 名将ペケルマン監督が率いる堅実なチームづくり
  - FIFAランク5位（南アフリカW杯終了時点：48位）
  - 南米での開催
  - エース ファルカオが1月に大けがをし、欠場か？
- ファルカオ以外にも強力なFW陣



# FW登録選手

名前	所属クラブとリーグ国名	生年月日	実績
テオフィロ・グティエレス	リーベルプレート	85.05.17	南米予選でファルカオに次ぐ6得点
ラダメル・ファルカオ	モナコ（FRA）	86.02.10	コロンビアのエース
カルロス・バッカ	セビージャ（ESP）	86.09.08	2013～14シーズンに14得点、UEFAヨーロッパリーグの優勝に貢献
ジャクソン・マルティネス	ポルト（POR）	86.10.03	ポルトガルリーグ2年連続得点王
ルイス・ムリエル	ウディネーゼ（ITA）	91.04.18	W杯終了後は、ユベントス、ミラン、アトレティコ・マドリードへの移籍の噂
アドリアン・ラモス	ヘルタベルリン(GER)	86.01.22	2013～14シーズンに16得点
ビクトル・イバルボ	カリアリ（ITA）	90.05.19	身体能力はアスプリンジャを彷彿させる

→ 今大会のダークホース

今まで以上の結果が期待される（ベスト8以上）

## エル・ティエンポ(5月29日 グティエレスの談話)

El atacante de River Plate habló de la dificultad de Japón, el primer rival de la Selección.

La Selección también vio ya el partido que Japón, el rival en su debut, el 14 de junio, le ganó 1-0 a Chipre el pasado miércoles.

5月25日 早朝5時～(日本時間)

コロンビア	VS	日本 →	両チームともに
2		2	決勝トーナメント進出

→ 両チームによる決  
勝